

持続可能な
インパクトを
生み出そう

Rotary

Rotary



「地域に必要とされる 愛されるクラブへ」

山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2800

RI会長：オンラインカ・ハキーム・ババロラ 2800地区ガバナー：伊藤 修二 ガバナー補佐：小野 和行
会長：鉄 浩二 幹事：高梨 徹也 会報・史料・雑誌・広報委員会 委員長：尾崎 敏幸
委員：金田 亮一 熊谷 一幸 佐々木 啓充 池田 等



地区テーマ

持続可能なインパクトを生み出そう

2026-2027年度国際ロータリー会長

オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏

はじめに：ロータリーという「変化」の場所

親愛なるロータリーの友、そしてファミリーの皆さま、おはようございます！
2026年国際協議会へようこそ。次期地区ガバナー（DGE）という大役を担われる皆さまを、心から歓迎し、お祝い申し上げます。

今週、皆さんは世界中から集まったリーダーや仲間たちと交流し、ロータリーの真の国際性を肌で感じるでしょう。この機会を逃さず、多くの友情を育んでください。何気ない温かな言葉が、思いもよらない素晴らしい未来へと皆さんを導いてくれるはずです。

ロータリーには共通点があります。それは、**「ロータリーが私たち自身を変えた」**ということです。奉仕を通じて、私たちはより良い人間へと形作られてきました。私たちのビジョン声明にある通り、変化は「世界」や「地域社会」だけでなく、まず「自分自身の中」から始まるのです。

「受ける側」になってもいい：ティアさんの物語

私たちはよく、ポリオ根絶や平和構築といった「世界を変える活動」を語ります。しかし、「自分自身の中にどのような変化が起きたか」と問われると、言葉に詰まる場合があります。

ノースカロライナ州のティア・コッパスさんの例を紹介しましょう。

彼女は2021年、長い闘病の末に夫を亡くしました。パンデミックの影響もあり、彼女は深い孤独の中にいました。そんな彼女を救ったのは、クラブの仲間からの「夕食会にこない？」という一本の電話でした。

不安を抱えながら会場に足を運んだ彼女を、初対面の会員が温かく抱きしめ、「来てくれて本当によかった!」と伝えました。その瞬間、彼女は「自分は一人ではない、ここには居場所がある」と確信したのです。

彼女は言います。「ロータリーは、与えるだけでなく、受ける側になってもいいのだと教えてくれました。つながりと居場所を求めるなら、ロータリーこそが答えです」と。

寄付から「奉仕」へ：教育へのインパクト

私自身も、十代のローターアクト活動で人生が変わりました。

識字率向上のプロジェクトに参加した際、同世代の若者が読み書きできない現実と直面し、強い衝撃を受けました。「教育へのアクセスを広げる」という責任感が私の中に芽生えたのです。

現在、世界では教育予算の削減により、多くの子どもたちが退学の危機にあります。この危機に立ち向かうには、単なる「寄付」にとどまらず、**自らが動く「奉仕」**へと意識を変えなければなりません。

例えば、南アフリカのナイズナロータリークラブは、地域と協力して幼児教育センターを立ち上げました。この活動は、単なる一時的な支援ではなく、何世代にもわたって子どもたちの未来を支える「持続可能なインパクト」を生み出しています。

2030年目標に向けた「開かれたクラブ」づくり

ロータリーが地域から信頼されれば、会員は自然と増えます。しかし、私たちは新しい人々を本当に歓迎できているでしょうか。

私が若い頃、あるクラブの例会に出席した際、「招待もなしに、何という厚かましさに」と拒絶されたことがあります。もし、そこで一人のロータリアンが「私が君を推薦するよ」と声をかけてくれなければ、今日の私はここにいません。

一部のクラブには、まだ閉鎖的な雰囲気が残っています。若い世代や異なる背景を持つ人々を拒んでいては、未来はありません。

理事会は、2030年までにロータリアン125万人、ローターアクター12万5千人という目標を掲げています。この達成は、皆さんの目の前の一人に対する態度から始まります。皆さんの振る舞いひとつが、誰かのロータリー・ストーリーを「始める」こともあれば、「終わらせる」こともあるのです。

「成果」の先にある「インパクト」を求めて

クラブ間の競争ではなく、「過去の自分たち」と競いましょう。過去最高の会員増数や寄付額を、ほんの少しでも超える努力をしてください。

そして覚えておいてください。「変化（チェンジ）」は始まりに過ぎず、「インパクト」こそが永続するものです。

ナイジェリアの母子保健プロジェクトでは、ロータリーの介入により乳児死亡率が劇的に下がりました。その「成果」は数字に現れますが、真の「インパクト」は、救われた子どもたちが母親の愛情を受け、次世代の社会を築いていくという未来そのものです。

結び：未来は私たちから

2026-2027年度の会長テーマは、「持続可能なインパクトを生み出そう」です。

ポリオ根絶という約束を果たすこと。2030年の会員目標に向けて歩むこと。そして、会員一人ひとりが自分の中にある可能性を解き放つこと。

進歩は勝手に起きるものではありません。自分を変えることで、クラブが変わり、地域が変わり、やがて世界に持続可能なインパクトを与えることができるのです。

友人の皆さま、一緒にこの素晴らしい旅を始めましょう。

ありがとうございます。

例会会場／パレスグランドール 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 事務所ビル 2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日

山形西 山形イブニング

火曜日

山形中央

水曜日

山形

木曜日

山形北

金曜日

山形東



Sustainable RID 2800

地域の絆で明日に繋ぐ

国際ロータリー第2800地区 2026-2027年度ガバナー

伊藤 修二氏

年初に開催されたRI国際協議会は、世界各地から集った今年度ガバナーエレクトとRIスタッフの面々約1500名での会議となりました。

オープニングからエンディングまで若い二人のローターアクトがファシリテーターとして本会議の進行役となり、現会長、会長エレクト、事務総長など主たる役職の方々のスピーチを中心に、その後の分科会でのそれぞれのテーマに従ったセミナーを進めてきました。

延べ五日間、夕刻はオープンな夕食会や地域色を交えた民族の夕べなどもありました。

オンラインカ・ハキーム・ババロラ会長エレクトのメッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。アフリカ大陸ナイジェリア出身のエレクトは、自身のローターアクト時代の経験を踏まえたロータリー感を交え、これまで培ってきたロータリーの歴史を基に、新たな展開をそこに加えていく必要性を話しました。常に進歩を生み出し、己を磨き、クラブを進化することで地域も変わり、それが世界に広がりインパクトを与えることができると説きました。

昨今のRIの主題は会員増強にあります。特に2030年のロータリー創設125周年にあたり会員総数125万人、ローターアクター 12万5千人を目指し増強を進めております。長い歴史を持った米英、欧州、オセアニア、無論日本も同様にかなりの会員減少を見ております。伸びの大きいのはインド、台湾、韓国等アジア地区ですが、全体の底上げには力不足といったところ です。我が第2800地区も厳しい現状に置かれ

ており、このままではいずれ地区合同の事態に追い込まれることが視野に入るかも知れません。

ロータリー行動指針計画にある「より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げる、係わりを促す、適応力を高める」は、長きに渡るテーマです。このインパクトの意味するところは「ポジティブな長期的変化」とされています。旧来のクラブ形態に拘らず新たな形態の他、コミュニティ等に対象を広げ拡大を目指す方針を示しています。

この視点から私共地区での新クラブ設立の目標を掲げ、その対象として衛星クラブの設立を進めていくことと致します。国内でこの衛星クラブが設立されていない地区はごく僅かとなっています。他にEクラブや分野特化型クラブなど様々な分野まで拡がっています。

またロータリー奉仕活動の重点分野の一つに「地域社会の経済発展」があります。

これは我々の奉仕活動に限らずこの地域の現状に対しても大切に進めていかなければならない大きな問題です。何もしなければ地方は衰退します。ロータリーの仲間づくりが地域社会の活性化に繋がり、地域全体のレベルアップを育むことになれば、望外の喜び、であります。

この難しい時代に立ち向かい「より良い地域を築くため」お力添えの程、宜しく願い申し上げます。